



どうだんっっじ

# 満天星

第6号 令和6年9月18日



QRコード  
智頭小学校ホーム  
ページへアクセス

## 人生に「夢や目標」は必要でしょうか

校長 矢部 佳子

皆さんは、夢や目標を持たれていますか。小さい頃はいかがでしたか。  
夢や目標を持っていなくても、人は生きていけると思うのですが…。そもそも、人生に夢や目標は必要なのでしょうか。

パリオリンピック・パラリンピックが閉幕しました。私たちに、多くの感動を与えてくれたアスリートの皆さんは、何度も挫折を味わい、想像できないくらいたくさんの努力を重ね、あの場に立っておられたのだと思います。夢を叶えようとする過程は、決して楽ではないはず。それなのに、人はなぜ夢や目標を追いかけるのでしょうか。

パリオリンピックのNHKテーマソング「舞台上立って」(YOASOBI)にこんなフレーズがあります。(スマホのカメラでQRコードを読み取ると、曲を聴いていただけます⇒)



「好きだから諦めなかった このがむしゃらな毎日が きっと願った結末に繋がっている」「かさぶたばっかの毎日も 今につながっている」「何度も何度も流した涙の分 立ち上がってきた 大きく吸った息を吐いて ゆっくり瞼を開けて 踏み出すんだ 会いに行くんだ 思い描いた未来の私に」

人生は、思うようにいかないことだらけ。挑戦するからこそ、失敗もする。そのたびに、心にかさぶたができて、治ったと思ったらまた失敗して…。こうした、挑戦と失敗の繰り返し、いつの間にか自分を成長させている、人生を輝かせているということなのかもしれません。「ホームランバッターは、三振も多い」と言われます。挑戦しなければ、失敗も挫折もないかもしれない。その分、個人の成長もそれなりであるということ。

オリンピックの期間中はBGMとしてよく耳にしたこの曲。この曲の歌詞から、「夢や目標をもつことは、未来の自分を思い描くこと」「諦めないで努力する毎日が自分の願う未来をつくる」と感じました。

また、10月19日(土)から鳥取県で開催される全国健康福祉祭「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の特集番組で、90歳を超えるスイマーの女性を取り上げられていましたが、こうおっしゃっていました。

「人生、目標がないと生きてたっておもしろくないでしょ。」

その方は、「今が一番幸せ。」と瞳を輝かせていらっしかったです。そんなふうに歳を重ねていけたら素敵だなと思いました。

さて、子供たちは、夢や目標を持っているのでしょうか。今年度4月に全国の小学6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」。この全国学調の質問紙に「将来の夢や目標を持っていますか」という質問があります。肯定的な回答の全国平均は「82.4%」ですが、本校6年生児童は、「95.8%」ととても高い結果でした。

ちなみに、本校の学校教育目標は、「夢に向かって のびる 杉っ子」です。改めて、皆さんはどう思われますか。人生に夢や目標は必要でしょうか。全校集会で、子供たちと一緒に考えてみたいと思っています。

## 🌸 2学期の学習の様子から 🌸

2学期が始まり、半月が経とうとしています。学期はじめの慌たしさも一段落し、どの学級も学習にじっくり向き合っています。学校便り5号でもお伝えしましたが、2学期より教科担任制・学年合同授業を全学年で行っております。その様子を少しですがお伝えします。



### 教科担任制

3年生では、理科を藤田教諭が行い、音楽を森本教諭が行っています。担当教科を絞ることで教材研究や授業準備も時間をかけて行うことができます。

### 合同授業

4年生では、社会科と体育で行っています。(写真は社会科の様子)

## 教育委員会学校訪問

9月13日(金)に、教育委員会事務局による学校訪問がありました。当日は、学習参観、意見交流、給食試食をしていただき、学校の様子を詳しく見ていただきました。「低学年の姿勢がよいですね。」「タブレットをうまく使っていますね。」等、感想をいただきました。今後も智頭小学校の教育に、深い関心と理解をいただければと思います。



学習参観の様子



給食試食の様子



意見交流の様子



## 児童の力につなげる ～職員研修より～

4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果をもとに、調査全体の分析結果を教務主任が、国語・算数の授業改善についてを、それぞれの主任が報告・提案し、本校の学力向上について研修しました。

- ◆自分の考えを、表現を工夫して書く力の育成
- ◆数学的表現を柔軟に用いて表現する力の育成

職員一同、2学期以降も取組を明確にして、児童に力をつけていきたいと思います。



結果全体・質問紙について



算数の授業改善について

## スクールカウンセラーより



毎月更新されている  
スクールカウンセラー便り  
便りは職員室前に掲示しています

夏休みも終わり、9月も中旬を過ぎると、新学期の疲れが出てくる頃です。学校に行きたくないなあ、イヤだなあ、がぼつぼつ出てくる頃。そんなときは、まず、「どうしたの?」と聞いてあげましょう。聞いてもらうことで、『見てくれている』という安心感につながり、『がんばろう』という気持ちにつながります。

3日~1週間たっても元気が出ない、休みが続く、そんなときにはスクールカウンセラーにお気軽に話しに来ていただければと思います。

毎週火曜日に勤務し、児童や保護者さんの悩みに寄り添ってくださるスクールカウンセラー。ときには教職員も、指導の方法についてなど相談しています。

ご相談がある方は、お気軽に担任までお知らせください。

